

R・2・10・10

年間五十億円以上の予算を費している学術会議が10年間何一つ政府への勧告をしないうで存続していることに驚きました。それだけでなく北海道大学の画期的な研究を、軍事研究だときめつけて中止させることもあります。外にも同様な例があるとのことです。

一六で

中国の軍事力増強への共同研究をすすめる恐るべき組織です。このような会議に国費を毎年五十億円以上も投入し続けている政府に憤りを抱きます。各省庁から発表される統計数値を見て怒りが生じます。厚生省からは幼児児童虐待が前年度より増加したと、文科省は「いじめ」の増目が発表されました。しかもその数値は一昨年の数字です。

現場に足を運ばず、全国から集めた数字を弄んでゐる間にも、虐待は起きており、「いじめ」も起きています。いたましい自殺も増えていきます。このような悲惨なことが今そして起る度に児童相談所や教育委員会からは、判で押しした様に毎回同じ言葉を聞かされます。

幼・児童が残酷な仕打ちで殺されたり、少年少女が思ひ詰めて自殺をしているのに、「ここまで深刻な状態とは思いませんでした。今後このようなことが起きないように対処します。」まるでテープで流している言葉です。このような悲惨なことが起きないように手を打つのが役所の使命です。統計をとることは、真実の仕事ではないと思ひます。

総務省が「モリヨウゼ」を、どの
県が一番多く食べているかを
発表しています。

これも統計の一つですが、このような
数値をとることが官庁のやる事
かと思えます。

商工会議所ですらやらないことです。
このような無駄が沢山あります。

同封の写真は国会の中の風
景です。民主党(旧)の山井議員が
TVに映るように見せた紙を
床に捨てたのです。

安保法案審議に対して
戦争法案と紙に書いて

TVカメラに向けてかざし続けて
終了後は、床に捨てたのです。
床に捨ててもいいような主義で
あることの証しです。

日本は改めるべきことや、
中止したり、無くした方がいいことが
山ほどあると思います。

鍵山秀三郎様



抄経産

朝日新聞の1面コラム天
声人語は昨日、初代福岡藩
主、黒田長政が開いた「異
見会」を紹介していた。長
政は、家臣からいくら耳に
痛いことを言われても腹を立てな
い、と誓っていた ▼それに比べ
て、と言わんばかりに、菅義偉首
相への批判が展開される。もちろ
ん、日本学術会議が推薦した新人
会員候補の一部について、任命を
見送った一件である。ではわが国
の科学者を代表する機関とされる
学術会議は、耳の痛いことを聞く
組織なのか ▼北海道大学名誉教
授の奈良林直^{ただ}さんは、国家基本問

題研究所のホームページへの投稿
のなかで、その強権ぶりを明らか
にしている。北大は平成28年度、
防衛省の安全保障技術研究推進制
度に応募した。採択されたのは、
微細な泡で船の航行の抵抗を減ら
す研究である ▼船舶の燃費が10
%低減される画期的なものだっ
た。ところが学術会議は「軍事研
究」と決めつけた。幹部が北大学
長室に押しかけて、研究を辞退さ
せた。同じような実例がいくつも
あるのではないか。まさに、学問
の自由に対する庄殺である ▼学
術会議は、昭和25年に「軍事研究
を行わない」と宣言した。GHQ

の占領下ではいざ知らず、現在で
は時代遅れの声明を「継承」した
のは3年前である。北朝鮮が弾道
ミサイルを相次いで発射している
最中だった。何より理解できない
のは、日本の安全保障に関する研
究をタブー視しながら、軍事力の
増強を急ピッチに進める中国との
共同研究を容認する姿勢である
▼奈良林さんによれば、そんな学
術会議に批判的な研究者も少なく
ない。今回の騒動をきっかけに、
大いに異見を募りたいものだ。も
ちろん、年間10億5千万円の国費
が投入されている、組織の民営化
や解体を含めてである。